



令和4年度御嵩町行政懇談会

質問用紙の回答

(全会場の当日質問用紙から)

【質問概要】

○令和4年度当初予算・財政状況について

○新庁舎等整備事業について

○リニア中央新幹線事業について

○亜炭鉱跡防災対策事業について

○伏見小学校大規模改造工事について

○上下水道整備について

行政懇談会 当日質問用紙(回答)

| No. | 質問(要約) | 担当課 | 回答 |
|-----|---|-------|---|
| | ○令和4年度当初予算・財政状況について | | |
| 1 | 庁舎建設費のために基金を取り崩し、借り入れもして、毎年1億円を返済、そして庁舎・ホールの維持管理費も新たに発生する状況になる時点での財政状況がどうなるかを計算し、開示していただきたい。 | 総務防災課 | 令和3年第4回定例会(12月議会)において議会に資料提出したデータをわかりやすくグラフにしたものをホームページに掲載します。なお、この財政推計は、12月時点で把握できる数値を基に一定の前提条件をおいたうえで行った極めて粗い試算であり、今後の景気動向、地方財政制度の改正や一部事務組合事業、予算編成等で変動する可能性は十分にあるため、数値、額等については幅をもって見る必要があります。 |
| 2 | 資料23ページの地方債残高と資料28ページの基金残高のR3~7年度(新庁舎の完成予定年度)の見込を示してほしい。今は良い状況だが、今後庁舎に78億も使えば、相当悪化すると思われる。基金は半分程度になるはず。 | 総務防災課 | 令和3年第4回定例会(12月議会)において議会に資料提出したデータをわかりやすくグラフにしたものをホームページに掲載します。なお、この財政推計は、作成時点で把握できる数値を基に一定の前提条件をおいたうえで行った極めて粗い試算であり、今後の景気動向、地方財政制度の改正や一部事務組合事業、予算編成等で変動する可能性は十分にあるため、数値、額等については幅をもって見る必要があります。 |
| 3 | 他町村との指標比較では、その指標を得るために何を節約しているか。住民のための支出を惜んでいるのではないか。 | 総務防災課 | 新庁舎関連事業、防災・減災対策事業、保育・学校環境の向上を推進するほか、大型事業を実施する中でも、必要な行政サービスが提供できるよう予算編成を行っております。また限られた財源の中で、重点施策・事業が実施できるよう各部・各課において事業の見直しや経費の削減を行っております。こうした見直しや経費の削減は、町民サービスの低下につながるような「節約」や「支出を惜しむ」ものではなく、事業の実績などをもとに、予算の適正規模・より効果の高い事業への予算配分を行うものです。今後も中長期的な視点に立った、持続可能な行財政運営を意識した予算編成を行ってまいります。 |

行政懇談会 当日質問用紙(回答)

| No. | 質問(要約) | 担当課 | 回答 |
|-----|--|-------|---|
| | ○新庁舎等整備事業について | | |
| 4 | 事業費について、御嵩町は児童館や保育園などを含んでおり、美濃加茂市との比較はできないと回答されたが、資料37ページに“児童館建築費、保育園建設補助金は含まず”とある。正しい内容を説明、お答えいただきたい。 | 総務防災課 | <p>これまでに予算措置された事業費は、資料37ページに記載のとおり約72億円となります。この事業費には、資料36ページの鳥瞰図で示します計画地全体の敷地造成費のほか、新庁舎と町民ホールの建物建築費等を含んでおりますが、児童館と保育園の建物建築費は含んでおりません。</p> <p>児童館建築費については、現在約1.5億円と試算しております。また、保育園については民間事業者の費用負担により建設し、その一部を町が補助しますが、現時点では町の補助額が確定していない状況であります。</p> <p>本町の新庁舎整備事業では、役場新庁舎のほか、他の公共施設等を集約し整備していくことや、町特殊事情である亜炭鉱跡対策を同時並行で進めていくことなど、他市の庁舎建設事業と条件が大きく異なるため、容易に比較検討ができません。ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>(※児童館建築費について、事前質問の回答では、端数切り捨てにより約1.4億円と表記しておりましたが、今回の回答では端数を切り上げ約1.5億円と表記させていただきます)</p> |
| 5 | 新庁舎2階の平面図を開示していただきたい。 | 総務防災課 | 新庁舎及び町民ホールについて、2階の計画平面図を開示します。 |
| 6 | 業務棟とホールの延床面積と建築費を教えてください。坪単価がいくら位か知りたい。 | 総務防災課 | 現在の試算では、新庁舎については延床面積は約4,700㎡、建築費は約23.6億円、坪単価としては約1,658千円と想定しています。町民ホールについては、延床面積は約2,160㎡、建築費は約12.5億円、坪単価としては1,910千円と想定しています。 |

行政懇談会 当日質問用紙(回答)

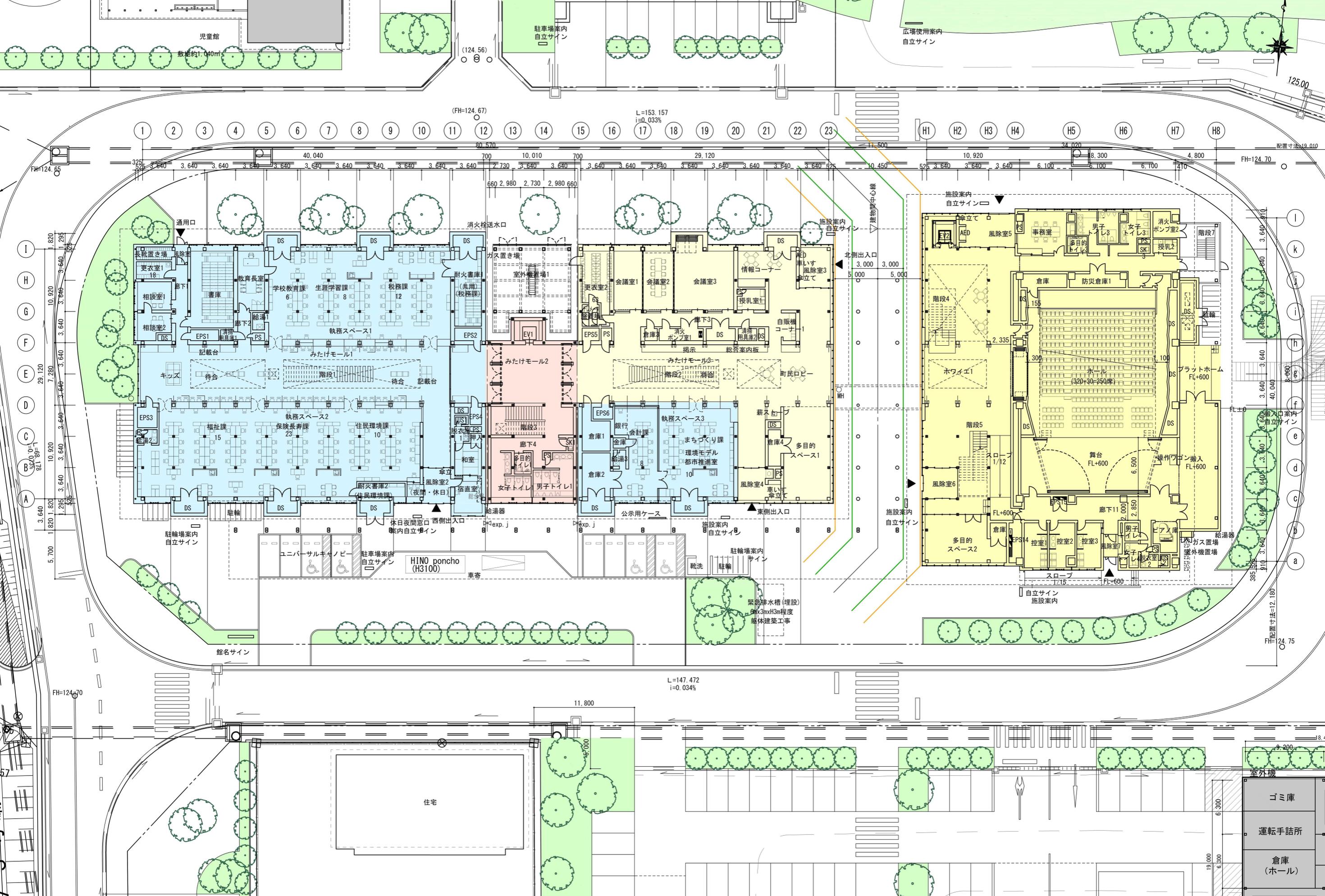
| No. | 質問(要約) | 担当課 | 回答 |
|-----|--|-------|---|
| | ○新庁舎等整備事業について | | |
| 7 | 盛土は2.5～3mでバイパスと同じ高さで聞いた。水害の際、周辺はどうなるのか。マップにその時想定される水位などをわかるようにご教示いただきたい。 | 総務防災課 | 新庁舎建設地の周辺地域は、町が発行している防災ハザードマップにおいて、100年に一度の大雨に伴い可児川が氾濫した場合の浸水予測として「0.5m未満」または「0.5～1.0m未満」の浸水想定区域となっております。 なお、防災拠点としての役割を担う新庁舎建設地は、現在の国道21号バイパスとほぼ同じ位の高さまで盛土をし(地盤を高くし)、浸水対策に備えます。 |
| 8 | 78億規模はだめ。身の丈に合った庁舎を。リモートワーク、人口減少(職員減少)、サテライトオフィス、サテライト窓口などを考えたか。 | 総務防災課 | 新庁舎建設にあたっては、現庁舎が抱える多くの課題(耐震性能、施設の狭あい化、バリアフリーへの未対応等)を解消し、併せてユニバーサルデザインの採用、効率的で機能的な行政サービスの提供等時代の変化に柔軟に対応できる庁舎整備を目指し進めてまいりました。 事業費については、多くのご心配の声をいただいておりますが、健全な財政運営と将来の財政負担軽減を念頭に事業を進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 |
| 9 | 現在の庁舎は築40年以上とあるが、新庁舎はどれくらいの期間使える想定で建てるのか。 | 総務防災課 | 木造建築物の場合、法定耐用年数(減価償却上)は22年となりますが、物理的耐用年数としては、一般的には40年～50年と言われております。しかし、実際には耐用年数以上に永く使用されている木造建築物は当然のように数多く存在しています。本町の新庁舎についても半世紀以上にわたって活用され、永く町民の皆様が親しまれるような庁舎整備に努めてまいります。 |
| 10 | フォーラムの結果、町が対策土を受け入れないという結果もあり得るか。 | 企画課 | 有識者にも確認する中で、JR東海的设计に問題があるようであれば、JR東海に対応を求めていきます。JR東海が科学的根拠なく対応せず、安全性が確認できないのであれば、受け入れないという結果もあり得ます。 |

行政懇談会 当日質問用紙(回答)

| No. | 質問(要約) | 担当課 | 回答 |
|-----|---|-----|--|
| | 〇リニア中央新幹線事業について | | |
| 11 | リニア残土について、町で受け入れる他に解決策があること、町にはリスクはあるがメリットが無いことなどを勧告すれば、受け入れは出来ないとなると思うが、なぜ受け入れを前提にしたのか、具体的な回答がなかった。争点をずらさないでちゃんとわかるように説明してほしい。 | 企画課 | <p>リニア残土の受入れについて、ご指摘のご意見があることは、十分承知しております。その上で、リニア中央新幹線については、「全国新幹線鉄道整備法」に基づく大きな社会的役割を持つ事業であり、本町は早期開通を長年にわたり要望してきたとともに、本線が通過する自治体として協力を求められる立場です。</p> <p>本町としては、特に要対策土につきましても、他で必要としている場所があれば、持ち出してほしいとの立場であり、JR東海には繰り返し、幅広く情報提供を求めています。具体的な策の提示はないのが現状です。</p> <p>一方で、美佐野工区トンネル掘削の計画の深度化が見込まれる中、熱海の事件をきっかけに全国的にも盛土の安全確保についての議論が生じました。</p> <p>本町としては、要対策土が町内で発生する以上、JR東海が提示する要対策土を含む盛土の計画について早期に安全性を確認していく必要があると考え、また、それが町民の皆様の安全を確保する責任だと考え、JR東海と受入れ前提での協議を進める決断に至ったところです。</p> |
| 12 | 遮水シートは、過去に産廃処分場でトラブルを起こしている。本当に大丈夫か。 | 企画課 | <p>令和3年8月に行った専門家への相談を通じて、遮水シートによる封じ込め工法は、安全性が確立された一般的な工法であり、適切に施工・管理されることが重要であると認識しました。そのため、今後のフォーラムでは、詳細設計に基づく説明と、適切な施工・管理方法をJR東海に求め、「本当に大丈夫か」のご懸念は、有識者の意見をいただきながら確認していきたいと考えております。</p> |
| 13 | リニア残土の計画地には、レッドデータに指定されている草木、生物が多数あります。そのことについてどのように考えていますか。 | 企画課 | <p>本町としても様々な方策を検討した上で、保全して頂きたいとの考えです。具体的にはリニア中央新幹線の事業主体であるJR東海が関係法令に従い、環境調査や環境保全対策を行うと聞いています。今後のフォーラムにおいてJR東海の対策の説明を聞き、有識者の意見等をいただきながら、現実的で有効な対策なのかを確認していきたいと考えております。</p> |

行政懇談会 当日質問用紙(回答)

| No. | 質問(要約) | 担当課 | 回答 |
|-----|--|----------|---|
| | ○亜炭鉱跡防災対策事業について | | |
| 14 | 15m以浅で予定地に入っていないところは、今後対策していくのかどうか。 | 亜炭鉱廃坑対策室 | 現在、進めている「南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業（通称：備えた事業）」の事業期間は令和3年度～令和6年度の4年間です。この4年間で約60.5haの対策を予定しています。 これまでに対策を行ったエリアに、備えた事業で対策するエリアを加えても「亜炭層（空洞）深度分布図」で15m以浅となっている（赤色で網掛けした）エリアの全てが対策済とはなりません。 令和7年度以降については、国や岐阜県などの関係機関に現状を伝えながら、新たに亜炭鉱跡の充填事業へ予算措置がされるよう働きかけてまいります。 |
| | ○伏見小学校大規模改造工事について | | |
| 15 | 仮校舎の耐震もお願いしたい。 | 学校教育課 | 仮設校舎については、「建築確認申請」が必要となり、その設計書類を基に県の建築事務所と協議し、許可を得ることとなりますので、耐震性能を含め、法令等に従い必要な条件を満たした構造とします。 |
| 16 | 校舎の改造を早くしてほしい。トイレに困っている。 | 学校教育課 | 行政懇談会（伏見小学校会場）でもお話を差し上げましたとおり、今年度中の発注を目指し全力で取り組んでおります。 なお、工事期間中に使っていただく仮設校舎のトイレは、個室はすべて洋式トイレで計画しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 |
| | ○上下水道整備について | | |
| 17 | 町の下水道整備は全て終わっているか。南山台東地区が終了していないようだが、水道課の対応はどうなっているのか。 | 上下水道課 | 本町の下水道事業は、計画に基づき鋭意事業の推進に努めているところです。 南山台東地区については、事業再開に向け自治会の特別委員会と課題について協議しております。 |



児童館

敷地約1,040m²

駐輪場案内
自立サイン

広場使用案内
自立サイン

(FH-124.67)

L=153.157
i=0.033%

125.00

配置寸法=19.010

FH=124.70

配置寸法=12.180

24.75

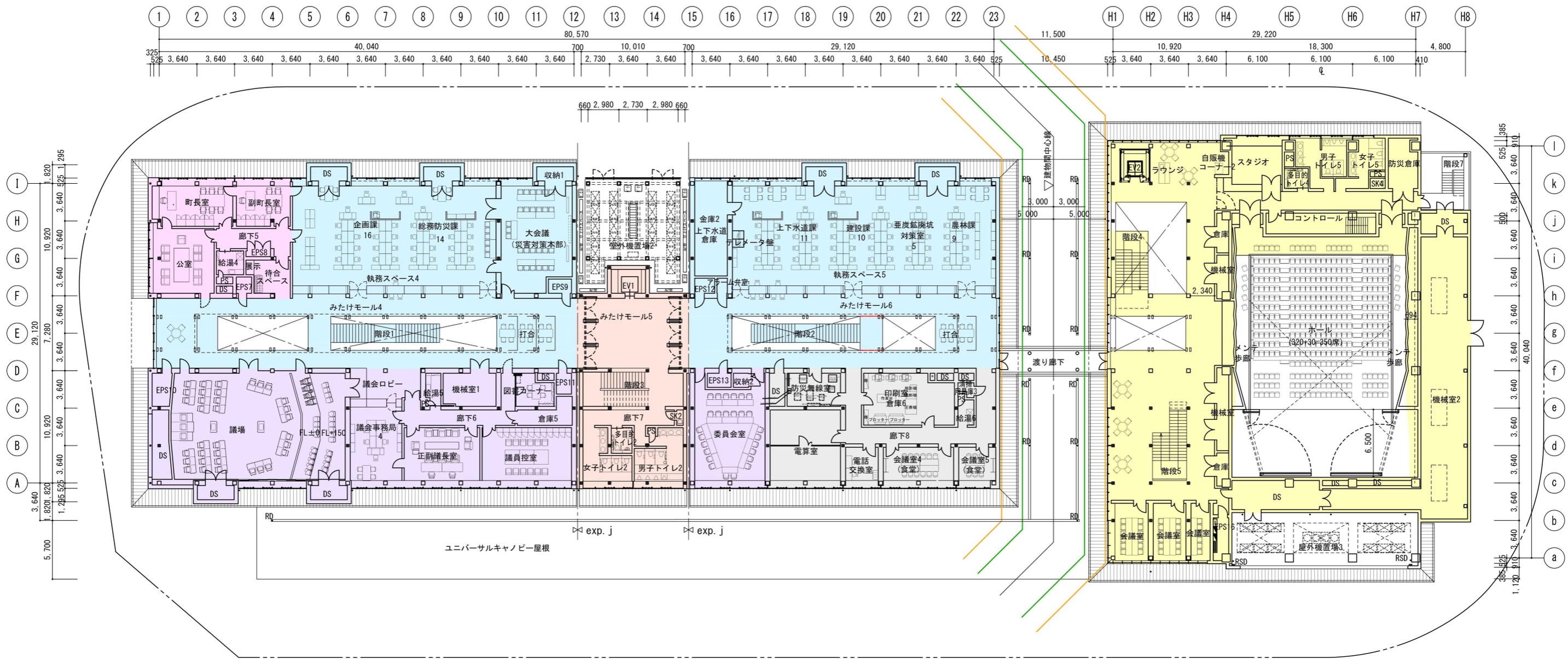
FH=124.70

11,800

L=147.472
i=0.034%

住宅

ゴミ庫
運転手詰所
倉庫
(ホール)



〈ゾーニング凡例〉

| | | |
|----------|--------------|-----------|
| 窓ロ・執務ゾーン | 会議・バックヤードゾーン | みたけモール |
| 町民活動ゾーン | 防火上の壁等 | キャンपी |
| 議会ゾーン | 町民ホール | 時間外セキュリティ |
| 執行部ゾーン | | |